

ルルモッペ河川愛護の会

【やまべが生息する豊かな

川づくり】

活動背景・目的

るもい川の美化、環境保全、担い手(子ども達)への環境教育を行い、活動を通して川の大切さを伝える。

昭和63年8月の留萌川大水害から復興に携わる留萌市内の建設業及びコンサルタント企業により、平成元年(1989年)6月に14社により設立し現在12社の会員で37年継続しております。

活動内容

【やまべの稚魚放流】

6月中旬、市内の小学校の生徒を対象に、るもい川の魚を水槽で観察、37年前のるもい川大水害のこと、川の大切さを伝える、みんなで3cm程度に成長したやまべの稚魚を河口から24km上流のるもい川に放流、こころに残る体験に努めております。

【るもい川の河川清掃】

7月の河川愛護月間に合わせて、沿線住民を含め総勢130名でルルモッペ大橋から東橋の3kmの両岸のごみを清掃しております。清掃前に、37年前のるもい川大水害を忘れ去られる事の無いよう、また、流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う【流域治水】の考え方を伝えております。

【ちびっこ釣り大会】

8月下旬に行われる【るもい川祭り】において、るもい川を釣り場として午前の部、午後の部で各45名を定員として釣り大会を実施するもい川に親子で親しんでもらい、併せてるもい川に生息する魚をリーフレットにし、川の大切さを伝えております。

【簡易魚道の設置】

魚の遡上に障害がある箇所簡易魚道を設置し、水質環境が良好な上流に生息域を確保するよう努めております。

【産卵床造成】

るもい川支川上流では、増水により砂利の流出が多く、サクラマスが産卵する箇所が少なくなっています。砂利で産卵床を作っています。

今後の展望・課題など

○展望

活動を充実させ、市民の皆さんにるもい川をきれいにしようという意識を高めるため、継続する活動をおこなう。

○課題

るもい川の支川上流はきれいな水質であり、魚の遡上を阻む人工障害物があるため魚を導く簡易魚道等の工夫が必要である。

活動分類

■環境保全

代表者:原田 欣典(興北建設(株))

連絡先:(事務局 宮下 正幸)

興北建設株式会社

〒077-0004 留萌市元町5丁目36番地

TEL: 0164-42-0668 FAX: 0164-42-1233

活動地区:留萌市



▲稚魚放流



▲環境教育



▲河川清掃



▲ちびっこ釣り大会



▲簡易魚道



▲産卵床造成